

(お知らせ)

福島第一原子力発電所4号機の純水補給水系統における トリチウムの検出について

平成18年8月6日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

当所4号機(沸騰水型、定格出力78万4千キロワット)につきましては、定格出力運転中ですが、平成18年7月31日、前日の同号機の純水補給水系^{*1}(以下、当該系統)の使用量積算計とその供給先の使用量とに不整合が確認されました。

原因を調査していたところ、8月5日、復水貯蔵タンクから当該系統につながる弁が全開(通常は全閉)となっていることが確認されたことから、ただちに当該弁を全閉状態といたしました。

このため、復水貯蔵タンクの水が当該系統へ流入したと考えられることから、同日に採取した当該系統の放射能濃度を測定したところ、本日、自然界に含まれる濃度よりも高い^{*2}トリチウム^{*3}が検出されました。

現在、管理区域外への放出について調査を行っております。

今後、原因について調査いたします。

以 上

*1 純水補給水系

発電所の運転に必要な純水を供給する系統。

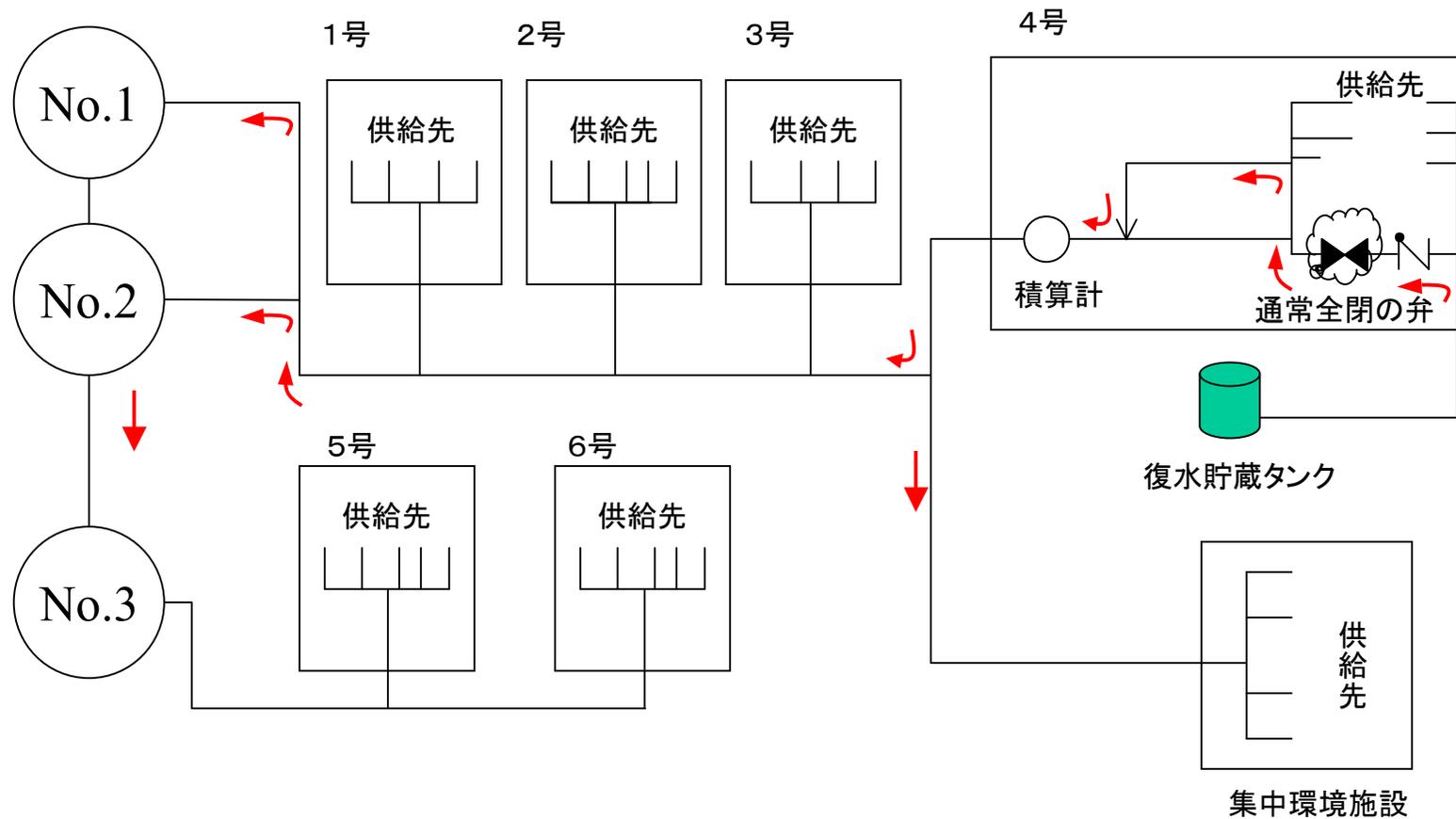
*2 自然界に含まれる濃度よりも高い

- ・自然界の海水のトリチウム濃度は約 5×10^{-4} ベクレル/cm³
- ・今回検出された水のトリチウム濃度は最大で約 1.3×10^2 ベクレル/cm³

*3 トリチウム

水素の仲間地球上のどこにでもある放射性物質で、原子炉の中でも発生している。

純水タンク(2,000m³)



福島第一原子力発電所 純水系統概略図